

## 内視鏡科

### (スタッフ)

副部長：小野 英樹（消化器内科副部長兼任）

内視鏡科での診療は各担当科の医師が担当しています。消化器内科は毎日、消化器外科・呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科・呼吸器外科は火曜日と木曜日を担当しています。必要時は小児外科も担当しています。緊急時はこの限りでなく各科がいつでも対応できるようにしています。消化器内科の小野が内視鏡科全体の運営を行っています。看護師は増減がありましたが現在は6人体制で維持されていて、時間内業務および時間外オンコール業務に対応しています。

### (診療実績)

2022年の検査総数は4,259件で、新型コロナウイルス感染症が世に広まった2020年より70件程度少ないです。上部内視鏡2,320件、大腸内視鏡1,164件、内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）219件、小腸カプセル内視鏡1件、ダブルバルーン小腸内視鏡12件でした。気管支鏡検査は昨年よりやや減少して277件でした。

処置や治療内視鏡については、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は食道11件、胃37件、大腸8件でした。ERCPの関連治療手技としては199件となっています。また、超音波内視鏡検査（EUS）とその関連処置（EUS-FNA、経消化管ドレナージ）の症例はそれぞれ238件、28件でした。時間外緊急内視鏡検査は52件でした。消化器内視鏡において、検査件数は減少傾向ですが処置や治療の件数は横ばいか増加したものとみられるという状況です。

各診療科別検査件数は、消化器内科3,654件、消化器外科308件、呼吸器内科・呼吸器腫瘍内科275件、呼吸器外科2件、小児外科20件でした。

### (今後の方向性)

新型コロナウイルス感染症に翻弄された面も少なからずあり、全体の内視鏡検査数は昨年より減少しました。件数が全てではもちろんありませんが、収益を考慮しつつ、かつ患者の利益になるような検査計画を提案していく作業が必要になります。減少の要因についても検討していきます。

紹介患者を増やすための開業医への宣伝・広報活動には既に取り組んでいるところですが、コロナ禍が落ち着きつつある今から、より広くアピールをし

ていきたいと考えます。

最後に、内視鏡科に関連して委員会業務の責任者を今後消化器内科部長の沖本先生に引き継ぐことになりました。これまで関係各位にはご協力いただき誠にありがとうございました。

（文責：小野英樹）

表1 内視鏡・検査処置件数推移

(単位：件)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上部内視鏡	観察	149	150	184	131	145	184	185	170	197	184	178	157	2,014
	ESD (胃)	2	2	3	8	3	3	3	3	1	5	0	4	37
	ESD (食道)	1	0	0	0	0	0	1	3	1	1	1	3	11
	EMR	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5
	点墨 (マーキング)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	EVL	0	0	2	4	3	1	3	1	3	3	3	3	26
	止血	2	6	3	3	11	2	5	4	8	4	4	5	57
	拡張	1	3	5	5	2	3	3	2	3	7	7	8	49
	イレウス管	2	2	2	1	1	4	3	3	2	1	3	3	27
	ステント	0	0	0	0	1	0	1	3	1	1	0	3	10
	異物除去	0	1	4	1	2	1	0	1	0	2	1	1	14
	PEG	5	3	4	6	3	4	1	3	5	5	7	6	52
	PEG 交換	2	2	2	2	1	0	1	0	0	4	2	1	17
	LECS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検査合計	165	170	209	162	172	203	206	193	221	218	206	195	2,320	
内視鏡 超音波	EUS	21	23	17	15	22	16	29	19	22	23	20	11	238
	EUS-FNA	3	2	2	0	1	1	1	6	2	3	5	2	28
	検査合計	24	25	19	15	23	17	30	25	24	26	25	13	266
	カプセル内視鏡	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	小腸内視鏡	1	0	0	7	1	0	2	0	1	0	0	0	12
下部内視鏡	観察 (造影含)	82	73	78	85	75	90	70	65	82	77	63	51	891
	ポリープ切除	10	14	22	12	17	17	18	12	18	21	15	15	191
	ESD	0	0	1	0	0	1	0	1	1	1	2	1	8
	点墨 (マーキング)	0	1	1	2	3	2	1	1	3	1	1	1	17
	拡張	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	イレウス管	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
	ステント	2	0	5	1	3	2	0	2	1	0	2	1	19
	異物除去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	止血	0	0	5	4	2	3	2	3	5	1	1	4	30
	結腸軸捻転解除	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	検査合計	95	88	113	106	100	115	92	86	111	101	84	73	1,164
E R C P	造影のみ	0	0	2	3	1	3	1	1	3	4	0	2	20
	胆管結石除去	9	9	11	5	6	10	4	1	5	2	12	7	81
	ステント	8	8	11	7	9	10	11	4	10	12	14	10	114
	その他	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	検査合計	18	18	24	15	16	23	16	7	19	18	26	19	219
	気管支鏡	24	20	33	14	24	27	21	17	18	28	21	30	277
上記に含む	OPE 室使用	0	2	3	5	0	3	2	3	1	0	4	3	26
	当日予約外	60	54	59	46	65	69	53	69	74	51	78	65	743
	透視使用	49	39	59	47	45	49	39	38	45	56	51	59	576
	時間外呼出件数	3	6	4	5	3	4	6	0	4	5	5	7	52
総数	検査数	327	321	398	319	336	386	367	328	394	391	362	330	4,259

科別件数	消化器内科	270	271	331	277	287	329	322	286	348	350	307	276	3,654
	外科	33	29	32	23	25	29	24	22	26	13	31	21	308
	呼内・呼腫瘍内科	24	20	32	13	24	25	21	17	18	28	23	30	275
	呼吸器外科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	小児外科	0	1	3	6	0	1	0	3	2	0	1	3	20
	総数	327	321	398	319	336	386	367	328	394	391	362	330	4,259

表2 過去5年間の検査数推移

(単位：件)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
上部内視鏡検査	2,750	2,755	2,625	2,525	2,320
大腸内視鏡検査	1,419	1,404	1,308	1,283	1,164
内視鏡的逆行性膵胆管造影	227	220	152	208	219
小腸カプセル内視鏡検査	22	18	8	16	1
ダブルバルーン内視鏡検査	18	17	7	3	12
気管支鏡検査	231	228	236	294	277
合計	4,667	4,705	4,336	4,551	4,259

表3 診療科別件数

(単位：件)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
消化器内科	3,565	3,740	3,447	3,635	3,654
消化器外科	856	702	631	606	308
呼吸器内科・呼吸器腫瘍外科	227	224	234	295	275
呼吸器外科	5	11	2	0	2
小児外科	14	28	22	15	20
合計	4,667	4,705	4,336	4,551	4,259